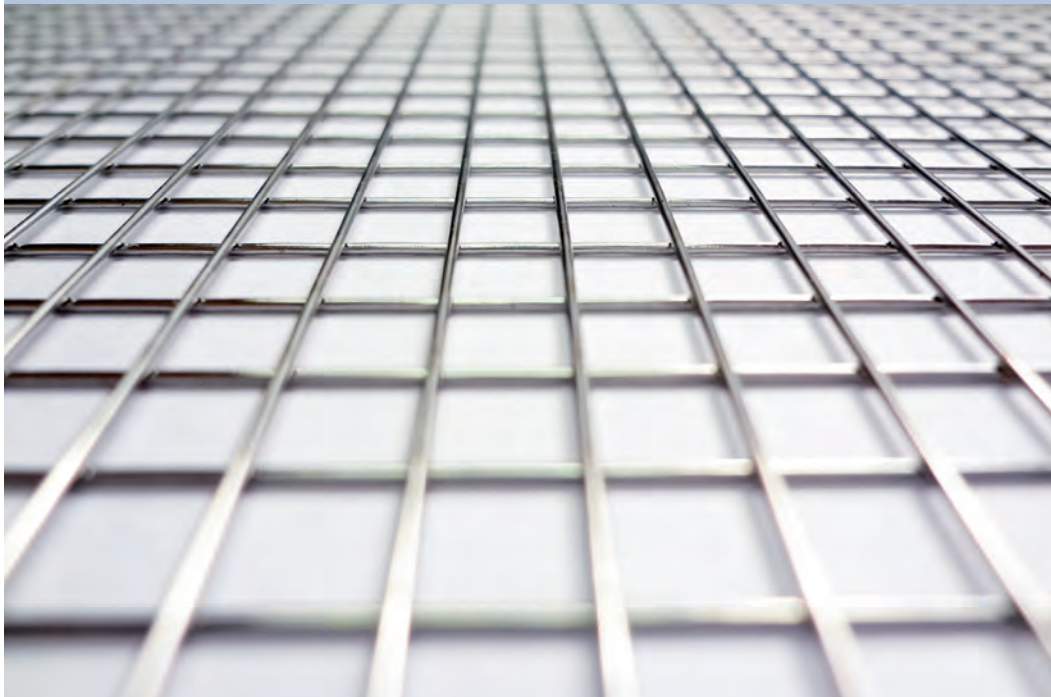


株式会社 イゲタ金網

溶接金網、極細物と 汎用品の2本柱で展開

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリー技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



焦げ目なく、網目が丈夫な溶接金網

業務内容
0.7mm〜6mmに対応、
極細は独自領域

溶接工法による金網の専門メーカー。線径が0.7mmの極細物から6mmまで幅広い線径サイズで金網を自社製造し、特に「ファインメッシュ」と呼ぶ細物の0.7mm〜2mm径は手がけるメーカーが少なく、特色となっている。ファインメッシュは建築資材をはじめ、装飾や食品関係など用途は幅広い。織物式の金網と違い、溶接式は網目がずれず、形状維持、強度確保などの利点が多い。建築鉄筋に用いる汎用品サイズの線径2mm〜6mmの金網は拡大戦略の対象ではなかったが、廃業する汎用金網メーカーを救済買収することで汎用品でも事業基盤を拡大している。ファインメッシュと汎用金網を両輪として、新たな展開を進めている。

強み
同業の事業を吸収し、
汎用品の事業基盤拡大

平成23年に半自動溶接機を導入して、特注品の加工能力を強化。納期を従来の半分の1週間程度に短縮した。これらを背景に独自領域の細径0.7mm〜2mmの金網は堅調で、毎年、売り上げを数%伸ばしている。
そして、平成28年3月に買収した汎用の金網メーカーの設備を取得したのを機に、汎用金網の上流工程となる伸線の工程設備を手に入れた。伸線から手がけるのは初めてで、汎用品の70%が伸線から内製する体制となり、コスト競争力と納期対応力が高まった。従来から強みとする157種の豊富な定尺品在庫の体制と併せて、相乗効果を引き出していく。

造形提案
素材生かす用途、
開拓に知恵ひねる

ファインメッシュの加工品の提案に工夫を凝らしている。平成27年に社員の意識喚起などを狙い、

大阪府が実施する東京での展示会共同出展に参加。その際に、東京都墨田区に立つ電波塔「東京スカイツリー」を模して、高さ3mの「溶接金網スカイツリー」を製作した。9種類の溶接金網を材料に、LED（発光ダイオード）なども使った。大阪府内で要望があれば、空間の飾り付けなどの用途に貸し出しもしている。

「新規の顧客に、金網という特殊な素材をどう使ってもらおうか、提案の難しさを実感してきた。何か形にして提案する取り組みをしたかった」と森崇倫社長は金網スカイツリーの狙いを話す。かご、ざるといった加工品での展開も探っている。

今後の展望
業界の構造変化に対応、
生産拠点の集約プランも

当面は、汎用品サイズの溶接金網の事業基盤を固めることに経営の軸足を置く。平成27年、28年の両年に相次ぎ廃業した金網メーカー2社から設備・人員を引き受けたことで、このほかにも事業承継を断念するケースが業界でまだ出てくる可能性が高いと読んでいる。今後も事業買収は積極的に対応する構えだ。

平成23年に3代目として就任した森社長は、独自のファインメッシュを特徴としつつ、経営のベースとして汎用の溶接金網を堅実に育成する戦略を立てる。競争が活発な汎用品の分野の事業を安定軌道に乗せて、5カ所に増えた生産拠点の集約化の方策を練っていく。



ファインメッシュの製造ライン



溶接金網で製作したスカイツリー

当社の歴史



創業時から「たとえコンクリートに埋まってしまう金網でも、きれいな正方形網目の金網を製造しよう」との想いで、「#（イゲタ）」を社名にしております。昭和59年に細径の溶接金網の製品販売にも乗り出しました。

たかのり
代表取締役社長 森 崇倫さん

<http://www.igeta-kanaami.co.jp/>

主な事業内容

溶接金網・ファインメッシュ・ひし形金網の製造販売

主な取引先(納入先)

ゼネコン、建材業者、鉄鋼商社、ステンレス流通、サッシュメーカー、各種金網メーカー

- 住 所 〒577-0044 東大阪府 西堤学園町1-8-9
- TEL 06-6789-3661
- FAX 06-6789-3673
- 創業 昭和38年12月
- 設立 昭和38年12月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 40名